

16 やくし どうひがしいせき
薬師堂東遺跡 (若林区木ノ下)

地下鉄東西線の建設工事に伴って行われた平成22年度の調査では、金属を溶かし、梵鐘を製造したと考えられる梵鐘鑄造遺構が見つかりました。一辺約2mの穴を掘り、その中央に鑄型を据えるための円形の台座(直径70cm)が粘土で作られていました。梵鐘の直径は、それよりもやや小さい約60cm、高さは約1mと考えられています。



梵鐘鑄造遺構

今回取り上げた主な遺跡



- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|
| ① 中在家南遺跡(弥生~古墳) | ⑥ 大野田古墳群(古墳~古代) | ⑪ 若林城跡(近世) |
| ② 高柳遺跡(縄文) | ⑦ 原遺跡(古墳) | ⑫ 郡山遺跡(古代) |
| ③ 高田B遺跡(縄文~弥生) | ⑧ 西台畑遺跡(古代) | ⑬ 与兵衛沼窯跡(古代) |
| ④ 洞ノ口遺跡(中世) | ⑨ 長町駅東遺跡(古代) | ⑭ 沓形遺跡(弥生) |
| ⑤ 大野田遺跡(縄文) | ⑩ 仙台城跡(近世) | ⑮ 春日社古墳(古墳) |
| | | ⑯ 薬師堂東遺跡(古代) |

※()は主な時代

平成の発掘調査

~ まちのうつりかわりとともに ~



高柳遺跡(泉区)
 地下鉄南北線延伸工事に伴う調査



薬師堂東遺跡(若林区)
 地下鉄東西線建設工事に伴う調査



はじめに

仙台市内には約780もの遺跡があり、仙台市教育委員会では、この30年間で約1800件の発掘調査を行ってまいりました。

平成の発掘調査を振り返り、この30年間にはどんな遺跡で、どのような成果があったのかをまとめました。市民の皆さまにとりまして、郷土の歴史理解をさらに深めていただく一助になれば幸いです。

仙台市のできごとと発掘調査の関連年表

年号	仙台市のできごと	調査原因となる事業・できごと (取り上げる遺跡)	年号	仙台市のできごと	調査原因となる事業・できごと (取り上げる遺跡)
平成元 (1989)年	政令指定都市としてスタート(人口89.6万人) 市制100周年 89グリーンフェアせんだい開催	荒井土地区画整理事業 ▶ 中在家南遺跡 ① 仙台市高速鉄道延伸建設事業(地下鉄南北線) ▶ 高柳遺跡 ②	平成15 (2003)年	仙台城跡国史跡指定 仙台カップ・国際ユースサッカー大会開催	仙台城跡 国史跡指定 ▶ 仙台城跡 ⑩
平成2 (1990)年	仙台空港初の国際定期便(ソウル便)就航 青年文化センター・新科学館・こども宇宙館開館 インターハイ開催		平成16 (2004)年	第1回グリーン購入世界会議開催	宮城刑務所全体改築工事 ▶ 若林城跡 ⑪
平成3 (1991)年	東北新幹線が東京駅乗り入れ 市立病院救急センター・仙台サンプラザ・広瀬文化センター・仙台国際センターが開館 第1回仙台ハーブマラソン大会開催	仙台南部道路建設事業 ▶ 高田B遺跡 ③	平成17 (2005)年		
平成4 (1992)年	地下鉄南北線が泉中央駅まで延伸 シルバーセンター・健康増進センター開館 全国生涯学習フェスティバルまなびピア'92開催	岩切駅前土地区画整理事業 ▶ 洞ノ口遺跡 ④	平成18 (2006)年	縄文の森広場開館 仙台城見聞館開館 仙台郡山官衙遺跡群国史跡指定	仙台郡山官衙遺跡群 国史跡指定 ▶ 郡山遺跡 ⑫ 都市計画道路「川内・南小泉線」新設事業 ▶ 与兵衛沼遺跡 ⑬
平成5 (1993)年	若林区文化センター開館	都市計画道路「川内・柳生線」新設事業 ▶ 大野田遺跡 ⑤	平成19 (2007)年	仙台空港アクセス鉄道開業 地下鉄東西線着工 元氣フィールド仙台オープン	仙台市高速鉄道東西線建設事業 ▶ 沓形遺跡 ⑭ 富沢駅周辺土地区画整理事業 ▶ 春日社古墳 ⑮
平成6 (1994)年	仙台東部道路(仙台東～仙台空港)供用開始 仙台南部道路(長町～仙台若林JCT)供用開始 福祉プラザ開館		平成20 (2008)年	新天文台開館 仙台・宮城デザインキャンペーン実施	
平成7 (1995)年	仙台都市総合研究機構設立 「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」開催 リサイクルプラザ開館	富沢駅周辺土地区画整理事業 ▶ 大野田古墳群 ⑥	平成21 (2009)年	仙台青陵中等教育学校・仙台大志高創立 仙台商業高と仙台女子商業高が統合	
平成8 (1996)年	地底の森ミュージアム(富沢遺跡保存館)開館		平成22 (2010)年	仙台北部道路開通 2010年 日本APEC第3回高級実務者会合等を開催 東北新幹線全線開通(新青森駅開業)	仙台市高速鉄道東西線建設事業 ▶ 薬師堂東遺跡 ⑯
平成9 (1997)年	仙台スタジアムオープン 国際ゆめ交流博覧会開催 仙台空港ターミナルビル全面オープン	共同住宅及び店舗用地・公共用地造成事業 ▶ 原遺跡 ⑦	平成23 (2011)年	東日本大震災(M9.0)発生 東北六魂祭開催	
平成10 (1998)年	情報・産業プラザオープン 新武道館・青葉体育館開館 仙台空港の3000m滑走路供用開始	仙台市あすと長町土地区画整理事業 ▶ 西台畑遺跡 ⑧	平成24 (2012)年	宮城野区文化センター開館 ねりんピック宮城・仙台2012開催	仙台城見聞館
平成11 (1999)年	仙台文学館開館 人口100万人達成 市民活動サポートセンター設置 太白区文化センター開館		平成25 (2013)年	国宝「慶長遣欧使節関係資料」がユネスコ記憶遺産登録 東北楽天ゴールデンイーグルス日本一	
平成12 (2000)年	仙石線地下新線開業 おおほ湯開館	地底の森ミュージアムキャラクター 富沢博士	平成26 (2014)年	泉岳自然ふれあい館・子ども体験プラザ「Elem」開館 市立病院が移転開院	
平成13 (2001)年	せんだいメディアテーク開館 慶長遣欧使節関係資料国宝指定 第1回仙台国際音楽コンクール開催 仙台東部・南部道路全線開通 環境フォーラム仙台2001環境国際会議開催	仙台市あすと長町土地区画整理事業 ▶ 長町駅東遺跡 ⑨	平成27 (2015)年	第3回国連防災世界会議開催 地下鉄東西線開業	史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設
平成14 (2002)年		縄文の高広畑キャラクター ハナちゃん	平成28 (2016)年	せんだい3.11メモリアル交流館開館 北海道新幹線開業(新青森～新函館北斗) 「政宗が育んだ「伊達」な文化」が日本遺産認定 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催	
			平成29 (2017)年	震災遺構 仙台市立荒浜小学校公開 史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設開館 東北まつり開催 世界防災フォーラム開催	
			平成30 (2018)年	フィギュアスケート男子シングルで羽生結弦選手が オリンピック2連覇 消防航空隊新庁舎開所 海岸公園全面オープン	
			平成31 (2019)年 令和元年		

1 なかざい けみなみ いせき 中在家南遺跡(若林区荒井)

「荒井土地区画整理事業」に伴い、昭和63年と平成元・4・5・25年に発掘調査が行われました。調査では河川跡などが見つかりました。

河川跡からは弥生土器や土師器、石器のほか、多数の木製品や骨角器、食物残渣などが出土しました。特に木製品は東北地方の弥生時代で最初の発見例となったものが多かったことから、仙台市有形文化財に指定されました。



多くの遺物が出土した河川跡

2 たかやなぎ いせき 高柳遺跡(泉区七北田)



出土した大量の遺物

平成元年に、仙台市営地下鉄の建設延伸工事に伴い発掘調査が行われ、縄文時代中期の遺物包(いぶつほう)含層から膨大な量の遺物が出土しました。復元できた土器は約700個体あり、器形・大きさ・文様は様々なものがありました。土器以外の遺物も豊富で、この時代の土器の変遷を検討する上で非常に貴重な遺跡と言えます。

3 たかだ いせき 高田B遺跡(若林区日辺)

平成元年の仙台南部道路(長町～仙台若林JCT)建設に伴う試掘調査で発見され、平成3～5年に行われた発掘調査では、縄文時代から近世までの遺構が確認されました。

河川跡からは、弥生時代の大量の木製品が出土し、中には製作途中の未完成品も多く見つかりました。ここでは生活道具の製作も行われていたと考えられます。



河川跡から出土した製作途中の木製品

4 どうのくちいせき 洞ノ口遺跡(宮城野区岩切)

土地区画整理事業や道路建設に伴い、平成4年から調査が実施されました。遺跡南西部では、戦国時代の留守氏のものと考えられる城館の堀や土塁跡などが見つかりました。この城館は室町時代の屋敷が発展したもので、磁器や陶器、木製品など生活にかかわるものが出土しています。その中でも各種の塔婆やこけら経など信仰に係わる木製品が特に注目されます。



出土した七連塔婆

5 おおの だ いせき 大野田遺跡(太白区大野田)



環状集石跡と配石墓坑群

都市計画道路「川内・柳生線」建設に伴い、平成5~7年にかけて調査が行われました。コンテナ箱約2160箱の大量の遺物が出土し、これまで行われた仙台市内の縄文時代の調査では最大量です。縄文時代には、環状集石跡を中心として、周囲に墓がつくられている状況が分かりました。これはまつりの場や共同墓地であったと考えられています。

6 おおの だ こふんぐん 大野田古墳群(太白区大野田)

「仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業」に伴い、平成7~24年にかけて継続的に調査が行われてきました。

これまでの調査で大野田地区には、鳥居塚古墳や春日社古墳など45基の古墳が見つかります。東北地方では数少ない埴輪を伴う群集墳です。古墳の周りからは円筒埴輪のほか、家や鳥などの形をした埴輪も出土しています。



発掘された古墳や木棺墓

7 はらいせき 原遺跡(太白区西多賀)

宅地造成工事に先立って、平成9~12年にかけて発掘調査が行われました。5世紀後半から6世紀の古墳時代中期後半から後期にかけての古墳群で、円墳11基、方墳2基が発見されました。

遺物としては、多くの円筒埴輪のほか、方墳から宮城県内2例目となる人物埴輪が出土しました。



出土した埴輪

8 にしだいばたけいせき 西台畑遺跡(太白区郡山)



密集して見つかった竪穴住居跡

西台畑遺跡は、「仙台市あすと長町土地区画整理事業」に伴って平成10年から調査が行われました。

これまでの調査で、飛鳥~奈良時代の竪穴住居跡が600軒以上も密集して見つかり、規模の大きな集落跡であることが分かっています。この集落には隣接する郡山官衙の造営にかかわった人々が暮らしていたと考えられます。

9 ながまちえきひがしいせき 長町駅東遺跡(太白区あすと長町)

長町駅東遺跡では「仙台市あすと長町土地区画整理事業」に伴う発掘調査で発見された遺跡で、平成13年度以降、調査が行われています。

飛鳥~奈良時代を中心とする竪穴住居跡が400軒近く見つかり、隣接する西台畑遺跡とあわせた一帯が大規模な集落跡であったことが分かっています。また集落を区画する溝跡や材木列跡も見つかり、郡山官衙に関わる集落の姿が想像できます。



集落を区画する溝跡・材木列跡が見つかった第4次調査区

10 仙台城跡 (青葉区川内)

本丸北壁石垣の修復に伴い、平成9年から発掘調査が行われました。この調査での成果が認められ、平成15年には国指定の史跡となりました。石垣解体時には、現在見えている石垣の内側に、仙台藩初代藩主伊達政宗の時代の石垣が見つかりました。

また、平成13年から開始された本丸大広間跡の調査成果をもとに、平成27年に建物や部屋の配置を示す遺構表示が行われています。



見つかった3時期の石垣

11 若林城跡 (若林区古城)



若林城跡を東から見たところ(昭和59年撮影)

宮城刑務所の改修に伴い、平成16年から調査が開始されました。

発掘調査を通して御殿建物跡などが数多くあったことや、池の跡や六郷堀を城内に引いた石組の水路跡も見つかり、当時の若林城の様子が次第に分かってきました。また全国でも数例しか見つからない珍しい形と文様の織部の皿も出土しました。

12 郡山遺跡 (太白区郡山)

平成18年に「仙台郡山官衙遺跡群 郡山官衙遺跡 郡山廃寺跡」として国史跡に指定されました。これまでの調査によって、郡山遺跡は多賀城以前の陸奥国府であったことが分かっています。

平成元年の調査では、石組池跡が見つかりました。これは当時、都があった飛鳥地方にしか発見された例がなく、地方の役所跡では唯一のものです。蝦夷の服属の儀礼などに使われていたと考えられています。



発掘された石組池跡

13 与兵衛沼窯跡 (青葉区小松島新堤 宮城野区蟹沢)

平成18年から都市計画道路「川内・南小泉線」の建設工事に伴い発掘調査が実施されました。

与兵衛沼窯跡を含む台原・小田原窯跡群は、多賀城などに瓦を供給した東北最大級の窯跡群とされています。貞観11(869)年の陸奥国大震災により国府多賀城が被害を受け、中央政府は震災復興にあたりました。窯跡には半地下式のものがあり、復興のために大陸の新しい技術を用いて窯を築き、瓦を焼成したものと考えられます。



新堤地区で見つかった平窯

14 沓形遺跡 (若林区荒井東)



津波によって廃絶した弥生時代の水田跡
(白っぽい部分が津波堆積物)

地下鉄東西線の車両基地の建設に伴い、平成19~20年度に発掘調査が行われ、弥生時代と古墳時代、平安時代から中世にかけての水田跡が見つかりました。弥生時代中期の水田跡は砂に覆われた状態で見つかり、この砂が海浜起源の砂であることから、水田跡は津波被害を受けて廃絶したことが分かりました。

15 春日社古墳 (太白区大野田)

平成6年から開始された「仙台市富沢駅周辺土地区画整理事業」に伴う一連の発掘調査の中で、平成19~20年に「春日社古墳」の調査が行われました。

春日社古墳は仙台市内で2番目の大きさの円墳です。5世紀後半から6世紀中頃のもので、東北地方唯一の革盾が出土し、仙台市有形文化財に指定されました。



古墳の埋葬施設